

きずな

NO.230 2025. 10/11 月号

こんにちは

日本共産党

中村れい子

市政報告です



発行：日本共産党高槻市議員団 市会議員・中村れい子 事務所／☎569-1114 高槻市別所中の町3-7 ☎681-8480 自宅／古曽部町2丁目

ジェンダー平等社会の実現を

女性べつ視・女性嫌悪について

この数年、性被害について、被害者が声を上げるようになってきました。それでも被害者なのに、本人にスキがあったのでは、性犯罪を引き起こすような服装だとか、被害者が悪いという見方があります。

からの教育、暴力を容認しない社会環境が求められる」としています。女性が声を上げ始めると、抑え込むような誹謗・中傷が強まります。

女性べつ視、嫌悪についての対策や啓発はどうしているのですか。

性売買の背景

少女たちの性売買があり、それを取り巻く事件が起こっています。背景には、家庭内での虐待や貧困、孤立などさまざまな困難があります。保護者や教員、児童相談所などの公的機関への相談、暴力や家出、自暴自棄な行動、うつ病の発症など、さまざまな形でSOSを出しています。学校などでの支援は必要です。

学校での学び

幼児期からの教育が必要とされています。学校教育で、女性べつ視、性暴力などについては、どういう学びが必要とされているのか、実践されていることはあるのか、お聞きします。

答弁↓

女性嫌悪については、

じた指導を行っている。要望・意見↓

家庭という居場所から逃げないといけない少女たちに、スカウトや「買春」する人が、声をかける状況があります。売春防止法に「買う側の処罰」と「売る側の保護」を定めないと本当の解決には至りません。

差別は許さない

女性の社会進出を否定するなど、ジェンダー平等に対する逆流も強まっています。これに対して多くの女性が「私の生き方は私が決める」「差別・分断は許さない」と声を上げています。市としても女性べつ視について、真摯に取り組んでいきたい。

市の黒字35億円を使って 物価高への支援を

物価は48ヶ月間連続

で上がっており、体感

インフレは1年前の1・

2倍となっています

大阪府内では昨年度

から国民健康保険料

が完全に統一保険料に

なったために全国で最

も高い水準です。

24年度の内閣府調査

では60歳以上の8割の

人が、ゆとりがない生

活だとなりました。

ひとり親家庭では、

こどもに1日3食、食

べさせられない、夏休

みなどの長期休みで給

食がなければ1日2食、

親は1日1食になる実

態があります。市の社

協が実施している食糧

支援も増えています。

国の支援の状況待ち

ではなく、市独自に支

援策を考えることが必要です。

昨年度の市の財政状

況は35億円の黒字でし

た。もともと市民のた

めに使うべき財源です。

いつどのように、何に

使うのか、お答えくだ

さい。

答弁↓

黒字分については、

物価高騰にかかる市独

自支援策も含め、市民福祉の向上のための財源とする。

要望↓

黒字分は物価高騰への市独自策も含め活用するということですから、第8弾のプレミアム商品券など、昨年以上の支援を12月議会には提案するように要望します。

外国人への差別や分断ではなく、 多文化共生でこそ民主主義は発展します

誰もが大切にされる高槻市に、外国人への差別・排外主義について

7月に行われた参議院選挙では、外国人差別・排外主義的な発言

外国人への差別の背景

があり、「外国人が入ってくるから、大きな犯罪が生まれている」「日本の治安が悪くなっている」などとあり、さらには、外国人への特権、優遇があるかのような発言もありました。

社会の不安の原因を外国人という乱暴なくくりで転嫁する。誰かを下にみたり、属性を理由に攻撃することが行われました。その結果、ネットでは日本人が納めた税金で、外国人が生活保護を受けている。また、日本の医療を受けているということまで言う人がいます。

外国人市民と共に

高槻市では2015年に「高槻市人権施策推進計画」を策定しました。2019年3月末で3402人の外国人市民が暮らしていますが、2025年8月末の時点では75か国5129人に増えていきます。

不安定な働き方を強いられ、物価高で生活が苦しく、社会保障を含めた将来に強い不安と、焦りを抱いています。若年層であるほど、この国が持続可能なのかという深刻な不安、不満があり、それと真摯に向き合っているようには見えない、政治への怒りがあるからではないでしょうか。

計画には、「外国人市民の人権に関しては、特定の民族を名指しして誹謗中傷するヘイトスピーチや、住まいの確保・日常生活の、サービス利用の拒否など、様々な場面で課題があり」「ともに地域で生活し、働く仲間として外国人市民が、それぞれ持つ文化や、生活が尊重され、差別や偏見をなくしていくために、相互理解を深め、多文

化共生の地域づくりを進めていくことが求められる」としています。

今の日本ではあらゆる産業で、人手不足にありま。高槻市で働いている外国人の方に対しての人権侵害について、また困っていることなど聞き取りを行うことが必要です。



学校での支援

外国人登録をされている人の中で、16歳未満は286人です。文部科学省は、外国籍や日本国外にルーツを持つ子どもへの、教育支援に

ついて議論を深めています。

市内在住の児童・生徒への支援についてですが、何か国語の言語支援が必要なのでしょう。か。在籍している小学校・中学校の個所数もお答えください。

答弁↓

市内で働く外国人を含め、勤労者の権利などが保護され、働きやすい職場づくりに向け、人権課題の周知・啓発に取り組んでいる。

学校では、日本語指導協力者を小学校20校、中学校6校に派遣しており、対象言語は7か国語です。

要望、意見↓

生活保護は、在留カードか、特別永住者証明書が必要で、生活保護受給の条件を満たした

場合に受給することができ、日本人との条件に違いはなく、医療保険は在留資格が3か月を超えた場合などに加入することがあります。外国人優遇はありません。

全国知事会も排外主義に反対

青森市で今年7月に行われた、全国知事会議で、47人の知事が、排外主義の否定と多文化共生社会を目指すことを盛り込んだ「青森宣言」採択しました。「争いよりも対話、異なる意見を尊重し、困難な時こそ温かい心で誰一人として置き去りにしない」としています。

高槻市でも外国人差別、排除に反対しより強いメッセージを発信してください。

事前に必ず連絡を
ください



市会議員

中村れい子

市政相談日は

毎月、第2土曜日です

場 所：中村れい子事務所
別所中の町3-7

時 間：朝10時～昼12時まで
TEL 681-8480/自宅 TEL 685-6686